

アズユーライク

特別勘定の現況 兼 特別勘定レポート

(2010年度)

(2011年6月発行)

● 投資環境(2010年度)

日本株式市場

当期の日本株式市場において、日経平均株価は期初11,089円で始まりました。4月3日に当期の高値となる11,339円をつけた以降は、欧州諸国の財政懸念等によるリスク回避姿勢の強まりから円高が進行したため、輸出関連株等が売られ、8月には9,000円台を割り込みました。その後、米国の金融緩和措置や円高傾向が解消されたことから相場は上昇に転じました。しかし、東日本大震災の影響で3月中旬には再び9,000円を割り込み、当期の安値となる8,605円をつけましたが、期末にかけ上昇し9,755円で終了しました。

外国株式市場

当期の外国株式市場は、昨年度末からの経済回復期待で堅調に始まりましたが、その後脆弱な米経済指標の発表や欧州諸国の緊縮財政政策が世界的な経済成長を鈍らせるとの懸念が高まり、7月に米国S&P500指数は1,022ポイント、英国FTSE100指数は4,805ポイントの安値をつけました。9月以降は好調な経済指標や金融緩和策の発表等により上昇に転じ、3月に日本の震災と原発問題があったものの、期を通じて堅調に推移し、期末はS&P500指数が1,325ポイント、FTSE100指数が5,908ポイントで終了しました。

日本債券市場

当期の日本債券市場において、長期金利(10年国債利回り)は期初1.40%で始まりましたが、4月以降の欧州財政危機に伴う投資家の質への逃避行動や景気回復への懸念等から利回りは下落(価格は上昇)基調となり、9月には0.84%まで低下しました。米国の中央銀行による追加的な金融緩和策によって、景気の先行き見通しや金融市場のセンチメント(市場心理)が回復し、資産価格上昇および金利上昇が見られた結果、利回りは上昇し、2月には1.3%台までつけましたが、期末は東日本大震災の影響により1.26%で終了しました。

外国債券市場

当期の外国債券市場は、期初、ギリシャ債務懸念の周辺諸国への波及や米国の経済指標が弱含んだことから景気減速懸念が再燃し、これに伴う投資家の質への逃避行動から債券が買われ、利回りは下落(価格は上昇)し、米国国債(10年債)で2.38%、ドイツ国債(10年債)で2.12%となりました。その後は、米国の景気回復期待などから、主要国の国債利回りは上昇に転じました。3月には日本の震災と原発問題から一時的に下落しましたが、期末は米国国債(10年債)が3.47%、ドイツ国債(10年債)が3.35%で終了しました。

外国為替市場

当期の外国為替市場は、年度を通じて円が主要通貨に対して強い展開となりました。円は対米ドルで93円台から始まりましたが、市場での利上げ観測が後退したことから円高が進み、11月初旬には80円台前半をつけ、95年以來の円高水準に達しました。対ユーロについても円高が進み、期初の126円台から、8月には一時01年以來の105円台をつけました。3月の日本の震災と原発問題により、対米ドルで一時78.89円をつけたものの、その後は円が売られ、期末は、対米ドルが83.13円、対ユーロが117.69円で終了しました。

● 特別勘定の運用方針

①当期の運用実績の推移

各特別勘定の運用状況をご参照ください。

②当期の運用方針

当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。

③今後の運用方針

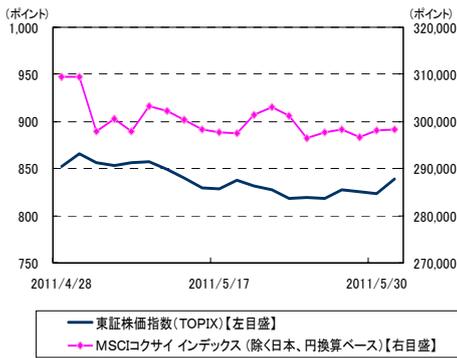
当社は、今後とも、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。



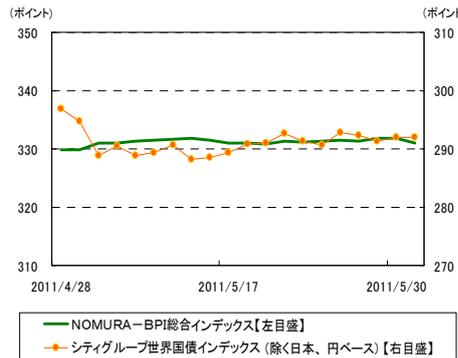
主要指数および為替市場の推移(直近1カ月間)

日本と外国の株式市場の推移



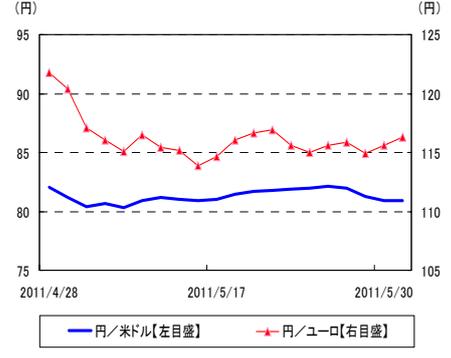
(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ投信作成

日本と外国の債券市場の推移



NOMURA-BPI総合インデックス(出所)NRI-IDS提供データを基に三菱UFJ投信作成、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ投信作成

外国為替市場の推移



*三菱東京UFJ銀行発表の対顧客直物電信売買相場の仲値(TTM)です。

市況動向

【日本株式市場】

5月の国内株式市場では、東証株価指数(TOPIX)は下落しました。上旬は、政府による中部電力浜岡原子力発電所の停止要請を受け、夏季電力需給への懸念が改めて広がったことや金融機関に対する東京電力への債権放棄を求める枝野官房長官の発言等が嫌気され、国内株式市場は上値の重い展開となりました。中旬には、2011年度1-3月期実質GDP(国内総生産)1次速報値が市場予想を下回り、2四半期連続で前期比マイナス成長となったことで、消費の減速や企業の減産による国内景気への懸念が改めて意識されたことや日銀の金融政策決定会合において具体的な追加金融緩和策が打ち出されなかったことを受け、国内株式市場は下落しました。下旬にかけては、企業からの発表や製造工業生産予測調査を通して、製造業の生産正常化が当初の想定よりも前倒しで進んでいることが確認されたことなどを好感し、国内株式市場はやや持ち直しました。

【外国株式市場】

5月の米国株式市場は下落しました。月前半は、新規失業保険申請件数の増加やISM(米供給管理協会)非製造業景気指数の下落など、軟調な経済指標が散見され景気減速懸念が台頭し、エネルギー関連など市況関連銘柄を中心に株式市場は下落しました。月後半も、欧州財政問題への懸念や中国の製造業景況感指数が鈍化したことなどから、世界景気の減速懸念が台頭し、株式市場は一時やや大きく下落する局面がありました。その後は、下旬に開催されたG8(8カ国)首脳会議を受け、株式市場は月末にかけやや持ち直す動きとなりました。欧州株式市場では、ドイツ株式市場は下落しました。月前半は、米国経済や世界経済に対する慎重な見方が増えたこと、ギリシャ国債の格付が引き下げられたことなどから、欧州株式市場は下落しました。月後半も、ギリシャの財政問題や追加支援への不透明感が強まったことやユーロ圏PMI(購買担当者指数)が低下し欧州企業の業績が懸念されたことなどから、欧州株式市場は下落しました。

【日本債券市場】

5月の国内債券市場では、長期金利(新発10年国債利回り)は低下(債券価格は上昇)しました。上旬は、政府による中部電力浜岡原子力発電所の停止要請を受け、夏季電力需給が一層ひっ迫するとの見方から、国内景気の先行きに不透明感が広がるなか、安全資産としての債券に対する堅調な需要を背景に、国内長期金利は低下しました。中旬にかけては、2011年度1-3月期実質GDP1次速報値が発表されましたが、東日本大震災の影響による生産や消費の落ち込みなどにより、2四半期連続で前期比マイナス成長となったことから、景気の先行きに対する懸念が高まり、国内長期金利は低下基調が続きました。下旬にかけては、米国経済の失速懸念が高まるなか、米国長期金利の低下を背景に、国内長期金利は低位で推移していましたが、月末に米国の大手格付会社が日本国債の格下げ検討を発表したことにより円安が進行したことを背景に、国内株式市場が上昇に転じたことなどから、国内長期金利は上昇に転じました。

【外国債券市場】

5月の米国債券市場では、長期金利(米国10年国債利回り)は低下(債券価格は上昇)しました。欧州財政問題への懸念の高まりや新規失業保険申請件数が大幅に増加し、米国の雇用情勢の改善が鈍化するとの見方が強まったことなどを背景に長期金利は低下しました。また、商品価格が下落し、物価上昇への懸念が和らいだことなども長期金利の低下を後押ししました。欧州債券市場では、ドイツ10年国債利回りは低下しました。ギリシャ国債の格付が引き下げられたことやユーロ圏PMIが低下し欧州企業の業績が懸念されたことなどから、ドイツ長期金利は低下しました。

【外国為替市場】

5月は米ドルが対円で下落しました。月前半は、4月のISM非製造業景気指数の下落など、経済指標が軟調だったことなどを背景に景気減速への懸念が強まり、米ドルは大きく下落する場面がありました。月後半は、日銀の白川総裁が日本経済に対する厳しい見方を示したことから、日本の金融政策がより緩和的になるとの見方が台頭したことなどから、米ドルは対円で上昇傾向となりました。しかしながら、その後は4月の個人消費支出の伸び率が市場予想を下回るなど、経済指標の鈍化などから米国経済の減速懸念がやや強まり、米ドルは対円で下落する動きとなりました。5月はユーロが対円で下落しました。月前半は、ギリシャ国債の格付が引き下げられたことなどから、ユーロは対円で下落しました。月後半は、ギリシャの追加支援への議論がまとまらずに不透明感が強まったことやユーロ圏PMIが低下し、欧州企業の業績が懸念されたことなどを受けて、ユーロは対円で下落しました。

※外国の株式・債券市場(グラフ・市況動向)は前日の指数で記載しております。なお、円換算ベースは前日の指数に当日のTTMを用いて算出しています。

■当資料は信頼できると思われる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。■コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。■また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

特別勘定の内容

基本プランおよび年金原資加算プランの特別勘定

種類	特別勘定の名称	運用会社	投資対象となる投資信託	資産運用関係費用(年率) ^{※1}
株式型	日本株式TM	三菱UFJ投信	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA*	0.3675%(税抜0.35%)程度
	外国株式TM		三菱UFJ 外国株式ファンドVA*	0.4725%(税抜0.45%)程度
債券型	日本債券TM		三菱UFJ 日本債券ファンドVA*	0.2625%(税抜0.25%)程度
	外国債券TM		三菱UFJ 外国債券ファンドVA*	0.3675%(税抜0.35%)程度
総合型	世界バランス30TM	東京海上アセット マネジメント投信	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA* 三菱UFJ 外国株式ファンドVA* 三菱UFJ 日本債券ファンドVA* 三菱UFJ 外国債券ファンドVA*	0.3465%(税抜0.33%)程度 ^{※2}
	バランス東海3県		TMA東海3県日本株式VA* TMA外国株式インデックスVA* TMA日本債券インデックスVA* TMA外国債券インデックスVA*	0.3591%(税抜0.342%)程度 ^{※2}
	バランス債券75TM	三菱UFJ投信	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA* 三菱UFJ 外国株式ファンドVA* 三菱UFJ 日本債券ファンドVA*	0.3019%(税抜0.2875%)程度 ^{※2}
	バランス債券50TM		三菱UFJ MV20VA*	0.3413%(税抜0.3250%)程度 ^{※2}
	バランス20TM		三菱UFJ MV40VA*	1.020%(税抜0.97%)程度 ^{※3}
	バランス40TM		三菱UFJ MV80VA*	1.110%(税抜1.06%)程度 ^{※3}
	バランス80TM		三菱UFJ MV80VA*	1.291%(税抜1.23%)程度 ^{※3}
金融市場型	マネーTM	三菱 MRF(マネー・リザーブ・ファンド)	1.00%以内 ^{※4}	

年金原資保証プランの特別勘定

年金原資保証プランを選択した場合は、ご選択いただける特別勘定に制限があります。特別勘定間の積立金の移転(スイッチング)はできません。

	種類	特別勘定の名称	運用会社	投資対象となる投資信託	資産運用関係費用(年率) ^{※1}
◆運用期間が10年以上	総合型	世界バランス30TM	三菱UFJ投信	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA* 三菱UFJ 外国株式ファンドVA* 三菱UFJ 日本債券ファンドVA* 三菱UFJ 外国債券ファンドVA*	0.3465%(税抜0.33%)程度 ^{※2}
		バランス東海3県	東京海上アセット マネジメント投信	TMA東海3県日本株式VA* TMA外国株式インデックスVA* TMA日本債券インデックスVA* TMA外国債券インデックスVA*	0.3591%(税抜0.342%)程度 ^{※2}
		バランス債券75TM	三菱UFJ投信	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA* 三菱UFJ 外国株式ファンドVA* 三菱UFJ 日本債券ファンドVA*	0.3019%(税抜0.2875%)程度 ^{※2}
◆運用期間が20年以上	総合型	世界バランス30TM	三菱UFJ投信	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA* 三菱UFJ 外国株式ファンドVA* 三菱UFJ 日本債券ファンドVA* 三菱UFJ 外国債券ファンドVA*	0.3465%(税抜0.33%)程度 ^{※2}
		バランス東海3県	東京海上アセット マネジメント投信	TMA東海3県日本株式VA* TMA外国株式インデックスVA* TMA日本債券インデックスVA* TMA外国債券インデックスVA*	0.3591%(税抜0.3420%)程度 ^{※2}
		バランス債券75TM	三菱UFJ投信	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA* 三菱UFJ 外国株式ファンドVA* 三菱UFJ 日本債券ファンドVA*	0.3019%(税抜0.2875%)程度 ^{※2}
		バランス債券50TM		三菱UFJ MV20VA* 三菱UFJ MV40VA* 三菱UFJ MV80VA*	0.3413%(税抜0.3250%)程度 ^{※2}

*適格機関投資家限定

注意事項

- ※1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。
- ※2 基本資産配分比率で投資した場合の費用です。
- ※3 三菱UFJ MV20VA/40VA/80VAはファンド・オブ・ファンズのため、信託報酬は以下ようになります。
 三菱UFJ MV20VA(年率0.26775%(税抜0.255%))が投資する投資信託証券を含めた場合、合計 年率1.020%(税抜0.9713%)程度
 三菱UFJ MV40VA(年率0.26775%(税抜0.255%))が投資する投資信託証券を含めた場合、合計 年率1.110%(税抜1.0573%)程度
 三菱UFJ MV80VA(年率0.26775%(税抜0.255%))が投資する投資信託証券を含めた場合、合計 年率1.291%(税抜1.2293%)程度
- ※4 三菱MRFについては、信託報酬は以下ようになります。
 信託元本の額に、年率1%以内で以下に掲げる率(以下「信託報酬率」といいます)を乗じて得た額とします。
- ① 各週の最初の営業日から翌週以降の最初の営業日の前日までの毎計算期にかかる信託報酬率は、当該各週の最初の営業日の前日までの7日間の元本1万口あたりの収益分配金合計額の年換算収益分配率に0.11を乗じて得た率以内の率とします。ただし、当該率が年率0.22%以下の場合には年率0.22%以内の率とします。
- ② 上記にかかわらず、当該信託の日々の基準価額算出に用いるコール・ローンのオーバーナイト物レート(以下「コール・レート」といいます)が、0.4%未満の場合の信託報酬率は、当該コール・レートに0.5を乗じて得た率以内とします。

特別勘定の運用状況

2011年5月末現在

●特別勘定 純資産総額の内訳

特別勘定の名称	運用資産				投資対象となる投資信託	運用会社	資産配分(%)		純資産総額 (百万円)
	株式		債券				有価証券等	現預金 その他	
	日本	外国	日本	外国					
日本株式TM	●				三菱UFJトピックスインデックスファンドVA*	三菱UFJ投信	97.0%	3.0%	1,817
外国株式TM		●			三菱UFJ 外国株式ファンドVA*		95.8%	4.2%	1,170
日本債券TM			●		三菱UFJ 日本債券ファンドVA*		94.0%	6.0%	547
外国債券TM				●	三菱UFJ 外国債券ファンドVA*		95.9%	4.1%	1,490
バランス20TM	●	●	●	●	三菱UFJ MV20VA*		96.0%	4.0%	105
バランス40TM	●	●	●	●	三菱UFJ MV40VA*		96.0%	4.0%	432
バランス80TM	●	●	●	●	三菱UFJ MV80VA*		95.8%	4.2%	156
マネーTM			●		三菱 MRF(マネー・リザーブ・ファンド)		99.2%	0.8%	75

*適格機関投資家限定

特別勘定の名称	運用資産				投資対象となる投資信託	運用会社	資産配分		純資産総額 (百万円)
	株式		債券				資産額 (百万円)	配分 (%)	
	日本	外国	日本	外国					
世界バランス30TM	●				三菱UFJトピックスインデックスファンドVA*	三菱UFJ投信	38,835	15.2%	256,131
		●			三菱UFJ 外国株式ファンドVA*		38,333	15.0%	
			●		三菱UFJ 日本債券ファンドVA*		83,902	32.8%	
				●	三菱UFJ 外国債券ファンドVA*		89,464	34.9%	
					現預金その他		-	5,595	
バランス東海3県	●				TMA東海3県日本株式VA*	東京海上アセット マネジメント投信	913	15.2%	6,006
		●			TMA外国株式インデックスVA*		898	15.0%	
			●		TMA日本債券インデックスVA*		1,965	32.7%	
				●	TMA外国債券インデックスVA*		2,097	34.9%	
					現預金その他		-	131	
バランス債券75TM	●			-	三菱UFJトピックスインデックスファンドVA*	三菱UFJ投信	1,158	12.7%	9,139
		●		-	三菱UFJ 外国株式ファンドVA*		1,139	12.5%	
			●	-	三菱UFJ 日本債券ファンドVA*		6,639	72.6%	
					現預金その他		-	202	
バランス債券50TM	●			-	三菱UFJトピックスインデックスファンドVA*	三菱UFJ投信	315	25.3%	1,250
		●		-	三菱UFJ 外国株式ファンドVA*		311	24.9%	
			●	-	三菱UFJ 日本債券ファンドVA*		570	45.6%	
					現預金その他		-	52	

*適格機関投資家限定

- ・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定の運用状況

●特別勘定の運用方針

特別勘定の名称	運用方針																								
日本株式TM	主に東京証券取引所第一部に上場する株式に投資し、TOPIX(東証株価指数)に連動する投資成果の獲得を目指します。日本株式の価格変動リスク等があります。																								
外国株式TM	主に日本を除く世界主要国の株式に投資し、MSCIコクサイインデックス(除く日本 円換算ベース)に連動する投資成果の獲得を目指します。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。世界株式の価格変動リスク、為替変動リスク等があります。																								
日本債券TM	主に日本の公社債に投資し、NOMURA-BPI総合指数(NOMURA-債券・パフォーマンス・インデックス総合指数)に連動する投資成果の獲得を目指します。金利変動リスク、信用リスク等があります。																								
外国債券TM	主に日本を除く世界主要国の公社債に投資し、シティグループ世界国債インデックス(除く日本 円ベース)に連動する投資成果の獲得を目指します。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク等があります。																								
世界バランス30TM	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式15%、外国株式15%、日本債券(短期金融資産を含む)35%、外国債券35%です。価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク等があります。																								
バランス東海3県	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式15%、外国株式15%、日本債券(短期金融資産を含む)35%、外国債券35%です。日本株式については、東海3県(愛知、岐阜、三重)に本社があり、証券取引所に上場している日本法人の株式を主要投資対象とします。																								
バランス債券75TM	国内外の株式および国内債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式12.5%、外国株式12.5%、日本債券(短期金融資産を含む)75%です。価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク等があります。																								
バランス債券50TM	国内外の株式および国内債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式25%、外国株式25%、日本債券(短期金融資産を含む)50%です。価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク等があります。																								
バランス20TM	主に日本を含む世界各国の株式および公社債(これらを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を図ることを目標とし、運用にあたっては合成ベンチマークを上回る投資成果の獲得を目指します。主要投資対象である投資信託証券は、ラッセル・インベストメント株式会社が運用を行います。価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク等があります。																								
バランス40TM	<p style="text-align: center;">＜基準ポートフォリオ＞</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">日本株式</th> <th style="text-align: center;">外国株式</th> <th style="text-align: center;">日本債券*</th> <th style="text-align: center;">外国債券 (為替ヘッジあり)</th> <th style="text-align: center;">外国債券 (為替ヘッジなし)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">バランス20TM</td> <td style="text-align: center;">15%</td> <td style="text-align: center;">5%</td> <td style="text-align: center;">40%</td> <td style="text-align: center;">35%</td> <td style="text-align: center;">5%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">バランス40TM</td> <td style="text-align: center;">30%</td> <td style="text-align: center;">10%</td> <td style="text-align: center;">30%</td> <td style="text-align: center;">25%</td> <td style="text-align: center;">5%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">バランス80TM</td> <td style="text-align: center;">55%</td> <td style="text-align: center;">25%</td> <td style="text-align: center;">10%</td> <td style="text-align: center;">5%</td> <td style="text-align: center;">5%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">*短期金融資産1%を含む</p>		日本株式	外国株式	日本債券*	外国債券 (為替ヘッジあり)	外国債券 (為替ヘッジなし)	バランス20TM	15%	5%	40%	35%	5%	バランス40TM	30%	10%	30%	25%	5%	バランス80TM	55%	25%	10%	5%	5%
		日本株式	外国株式	日本債券*	外国債券 (為替ヘッジあり)	外国債券 (為替ヘッジなし)																			
バランス20TM		15%	5%	40%	35%	5%																			
バランス40TM	30%	10%	30%	25%	5%																				
バランス80TM	55%	25%	10%	5%	5%																				
バランス80TM																									
マネーTM	主に信用度が高く残存期間の短い日本国内外の公社債、CP等の短期金融商品に投資することによって、安定した収益の確保を目指します。短期金融商品に金利変動リスクがあります。																								

- ・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定 ユニットプライスの推移と期間収益率

2011年5月末現在



期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2011年5月末現在
	-1.70%	-11.22%	-2.50%	-4.89%	73.20



期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2011年5月末現在
	-3.89%	0.67%	8.47%	11.80%	96.08



期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2011年5月末現在
	0.21%	0.22%	-0.31%	-0.57%	97.98



期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2011年5月末現在
	-1.52%	2.88%	0.65%	-3.07%	93.85



期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2011年5月末現在
	-1.35%	-0.47%	1.24%	0.06%	92.54



期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2011年5月末現在
	-1.34%	-0.54%	1.55%	0.22%	85.30

※ ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
 ※ ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定 ユニットプライスの推移と期間収益率

2011年5月末現在



期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2011年5月末現在
	-0.55%	-1.15%	0.66%	0.77%	96.87



期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2011年5月末現在
	-1.34%	-2.57%	1.54%	1.87%	94.91



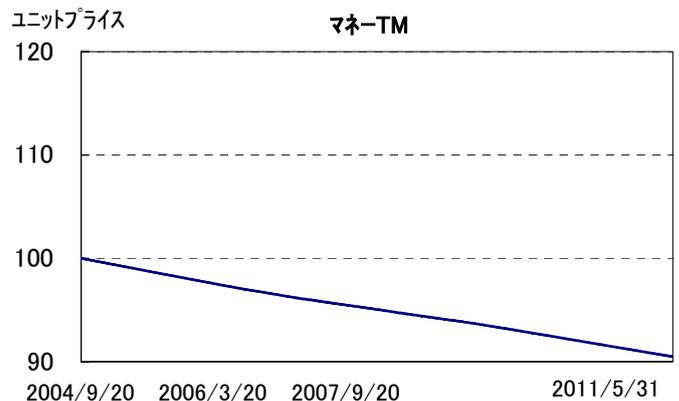
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2011年5月末現在
	0.23%	-0.89%	-0.20%	-0.48%	96.67



期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2011年5月末現在
	-0.42%	-2.68%	-0.34%	-0.42%	93.56



期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2011年5月末現在
	-1.79%	-5.71%	-0.26%	0.05%	87.64



期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2011年5月末現在
	-0.13%	-0.40%	-0.78%	-1.56%	90.48

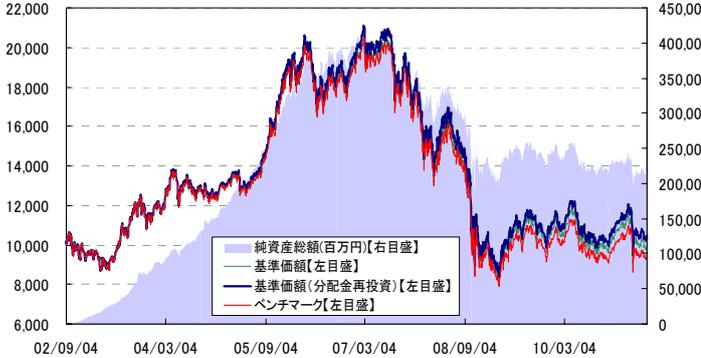
※ ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
 ※ ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA (適格機関投資家限定)

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆設定来の運用実績



・基準価額、基準価額(分配金再投資)、ベンチマークは設定日を10,000として指数化しています。
 ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.3675%(税抜 0.35%))控除後の値です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものととして計算しています。

◆ファンド現況

	2011/5/31	前月末	前月末比
基準価額	9,998円	10,159円	-161円
純資産総額(百万円)	217,619	219,852	-2,233

	基準価額	日付
設定来高値	20,529円	2007/2/26
設定来安値	8,161円	2009/3/12

◆分配金実績(税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2011/2/21	2010/2/22	2009/2/20	2008/2/20	2007/2/20	2006/2/20	
分配金	100円	100円	0円	0円	100円	100円	600円

・1万口当たりの税引前分配金実績です。

◆組入上位10業種

	業種	ファンド	ベンチマーク
1	電気機器	14.72%	14.72%
2	輸送用機器	10.57%	10.57%
3	銀行業	8.90%	8.91%
4	情報・通信業	6.09%	6.09%
5	化学	6.08%	6.08%
6	卸売業	5.46%	5.46%
7	機械	5.36%	5.35%
8	医薬品	4.79%	4.79%
9	小売業	3.71%	3.70%
10	陸運業	3.41%	3.41%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆商品概要

主要投資対象	三菱UFJトピックスインデックスマザーファンド受益証券(日本の株式に直接投資することもあります。)
運用方針	①三菱UFJトピックスインデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク(東証株価指数(TOPIX))に連動する投資成果を目指して運用を行います。 ②三菱UFJトピックスインデックスマザーファンドは、日本の株式を主要投資対象とします。 ③主に三菱UFJトピックスインデックスマザーファンド受益証券に投資しますが、日本の株式に直接投資することもあります。 ④株式以外の資産の投資は、原則として信託財産総額の50%以下とします。
設定日	2002年9月4日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日(休業日の場合、翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し、年率0.3675%(税抜 0.35%)

◆運用資産構成

	2011/5/31	前月末	前月末比
実質国内株式組入比率	100.25%	100.56%	-0.30%
内 現物	97.52%	97.73%	-0.21%
内 先物	2.73%	2.83%	-0.09%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-1.58%	-10.95%	-1.56%	-3.02%	-37.36%	4.54%
ベンチマーク	-1.57%	-11.86%	-2.61%	-4.77%	-40.45%	-5.41%
差	-0.02%	0.90%	1.05%	1.75%	3.09%	9.94%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものととして計算しています。

また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

◆組入上位15銘柄

(組入銘柄数: 1609 銘柄)

	銘柄	業種	ファンド	ベンチマーク
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.77%	3.87%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.42%	2.48%
3	ホンダ	輸送用機器	2.25%	2.31%
4	キヤノン	電気機器	2.09%	2.15%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.53%	1.57%
6	三菱商事	卸売業	1.40%	1.44%
7	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.35%	1.38%
8	武田薬品工業	医薬品	1.31%	1.34%
9	日本電信電話	情報・通信業	1.22%	1.25%
10	ソフトバンク	情報・通信業	1.19%	1.22%
11	ファナック	電気機器	1.12%	1.15%
12	NTTドコモ	情報・通信業	1.07%	1.09%
13	ソニー	電気機器	1.05%	1.07%
14	コマツ	機械	1.04%	1.07%
15	三井物産	卸売業	1.02%	1.04%

・比率は純資産総額に対する割合です。

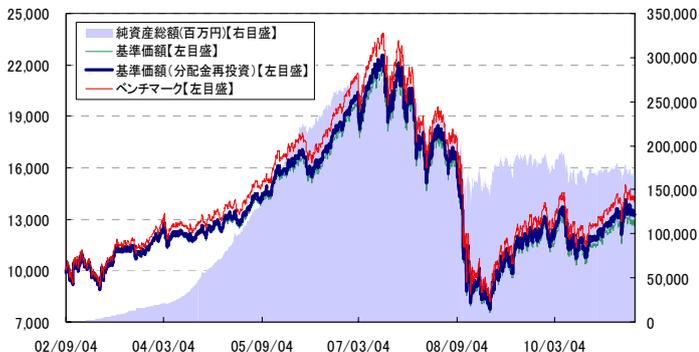
■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

■東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

三菱UFJ 外国株式ファンドVA (適格機関投資家限定)

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆設定来の運用実績



・基準価額、基準価額(分配金再投資)、ベンチマークは設定日を10,000として指数化しています。
 ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.4725%(税抜 0.45%))控除後の値です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

◆ファンド現況

	2011/5/31	前月末	前月末比
基準価額	12,760円	13,279円	-519円
純資産総額(百万円)	166,771	173,745	-6,974

	基準価額	日付
設定来高値	21,932円	2007/7/20
設定来安値	7,540円	2009/3/10

◆分配金実績(税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2011/2/21	2010/2/22	2009/2/20	2008/2/20	2007/2/20	2006/2/20	
分配金	100円	100円	0円	0円	100円	100円	600円

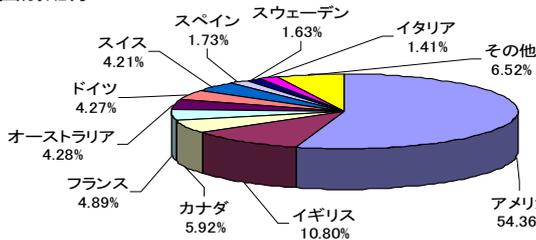
・1万円当たりの税引前分配金実績です。

◆組入上位10業種

業種	比率
1 エネルギー	12.37%
2 素材	8.07%
3 銀行	8.05%
4 資本財	7.84%
5 医薬品・バイオテック・ライフ	7.43%
6 食品・飲料・タバコ	6.43%
7 各種金融	5.29%
8 ソフトウェア・サービス	5.23%
9 保険	4.26%
10 テクノロジ・ハードウェア・機器	4.19%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆国別配分



・比率は現物株式評価額に対する割合です。
 ・国名は投資対象銘柄の主要取引所国を表しています。

◆商品概要

主要投資対象	三菱UFJ 外国株式マザーファンド受益証券 (外国の株式に直接投資することもあります。)
運用方針	①三菱UFJ 外国株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCロクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース))に連動する投資成果を目指して運用を行います。 ②三菱UFJ 外国株式マザーファンドは、日本を除く世界主要国の株式を主要投資対象とします。 ③日本を除く世界主要国の株式に直接投資することもできます。 ④外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。ただし、市場動向等の判断により、為替ヘッジを行う場合があります。
設定日	2002年9月4日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日(休業日の場合、翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し、年率0.4725%(税抜 0.45%)

◆運用資産構成

	2011/5/31	前月末	前月末比
実質外国株式組入比率	99.90%	99.57%	0.33%
内 現物	97.07%	97.06%	0.02%
内 先物	2.83%	2.51%	0.32%

・比率は純資産総額に対する割合です。
 ・REITの組入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-3.91%	1.12%	9.72%	14.09%	-27.04%	33.22%
ベンチマーク	-3.65%	0.90%	9.76%	13.97%	-26.92%	41.37%
差	-0.25%	0.22%	-0.04%	0.12%	-0.12%	-8.14%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。
 ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

◆組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1278 銘柄)

銘柄	国名	業種	ファンド	ベンチマーク
1 EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.74%	1.79%
2 APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	1.29%	1.33%
3 NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.93%	0.95%
4 INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.87%	0.90%
5 CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	0.87%	0.89%
6 GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.86%	0.89%
7 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.79%	0.82%
8 PROCTER & GAMBLE CO/THE	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.77%	0.80%
9 AT&T INC	アメリカ	電気通信サービス	0.77%	0.80%
10 HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	0.77%	0.79%

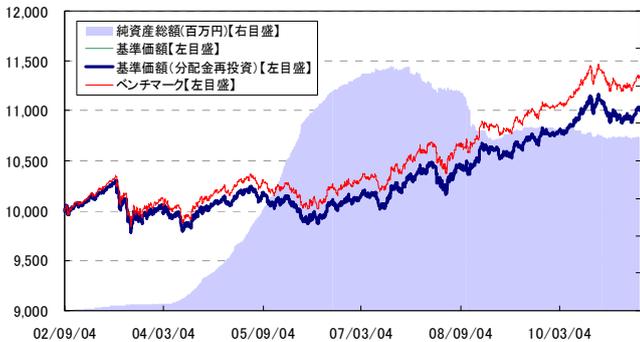
・比率は純資産総額に対する割合です。
 ・国名は投資対象銘柄の主要取引所国を表しています。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。
 ■MSCIロクサイ インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要国で構成されています。MSCIロクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース)は、MSCIロクサイ インデックス(除く日本 米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIロクサイ インデックスはMSCI Inc.の財産であり、「MSCI」はMSCI Inc.のサービスマークです。

三菱UFJ 日本債券ファンドVA (適格機関投資家限定)

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆設定来の運用実績



・基準価額、基準価額(分配金再投資)、ベンチマークは設定日を10,000として指数化しています。
 ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.2625%(税抜 0.25%))控後の値です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

◆ファンド現況

	2011/5/31	前月末	前月末比
基準価額	11,001円	10,960円	+41円
純資産総額(百万円)	228,743	230,614	-1,871

	基準価額	日付
設定来高値	11,147円	2010/10/6
設定来安値	9,786円	2004/6/17

◆分配金実績(税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2011/2/21	2010/2/22	2009/2/20	2008/2/20	2007/2/20	2006/2/20	
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	10円

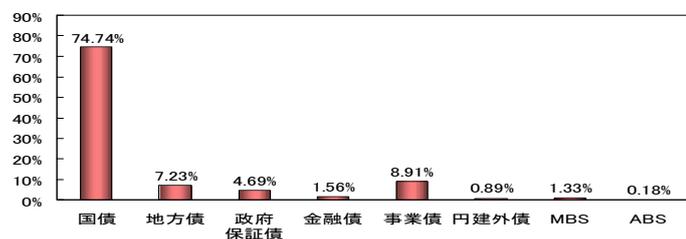
・1万円当たりの税引前分配金実績です。

◆利回り・デュレーション・平均残存期間

最終利回り	0.85%	平均残存年数	8.15年
直接利回り	1.47%		
デュレーション	6.86年		

・数値は、デュレーションを除き債券現物部分について計算しています。

◆種別配分



・比率は純資産総額に対する割合です。

◆債券の格付分布

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	90.25%	635
AA格	7.28%	164
A格	1.99%	42
BBB格	0.00%	0
BB格以下	0.00%	0
無格付	0.00%	0

・格付の振分基準は、次の通りです。
 AA格(AA+AAA-Aa1Aa2Aa3)、
 A格(A+AA-A1A2A3)、
 BBB格(BBB+BBB BBB-Baa1Baa2Baa3)、
 BB格(BB+BB BB-Ba1Ba2Ba3)
 ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソフリン格付(国の発行体格付)を採用しているものがあります。また日本の金融債については発行体格付を採用しています。
 ・格付分布はR&I社、JCR社、S&P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。
 ・比率は純資産総額に対する割合です。

◆商品概要

主要投資対象	三菱UFJ 国内債券マザーファンド受益証券 (日本の公社債に直接投資することもあります。)
運用方針	①三菱UFJ 国内債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク(NOMURA—BPI総合指数)に連動する投資成果を目指して運用を行います。 ②三菱UFJ 国内債券マザーファンドは、日本の公社債を主要投資対象とします。 ③日本の公社債に直接投資することもできます。
設定日	2002年9月4日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日(休業日の場合、翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し、年率0.2625%(税抜 0.25%)

◆運用資産構成

	2011/5/31	前月末	前月末比
実質国内債券組入比率	99.52%	99.74%	-0.22%
内 現物	99.52%	99.74%	-0.22%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

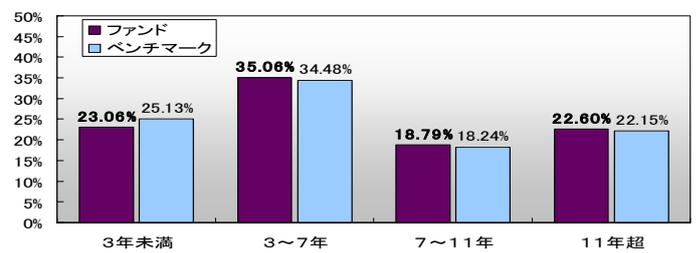
・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.37%	0.69%	0.55%	1.17%	7.64%	10.12%
ベンチマーク	0.38%	0.76%	0.70%	1.47%	8.61%	13.34%
差	-0.00%	-0.08%	-0.15%	-0.30%	-0.97%	-3.22%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。
 ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

◆残存別組入比率



・比率は純資産総額に対する割合です。

◆組入上位10銘柄

銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1 第256回利付国債(10年)	国債	1.400%	2013/12/20	1.67%
2 第312回利付国債(10年)	国債	1.200%	2020/12/20	1.28%
3 第89回利付国債(5年)	国債	0.400%	2015/6/20	1.27%
4 第289回利付国債(10年)	国債	1.500%	2017/12/20	1.22%
5 第288回利付国債(10年)	国債	1.700%	2017/9/20	1.21%
6 第88回利付国債(5年)	国債	0.500%	2015/3/20	1.13%
7 第306回利付国債(10年)	国債	1.400%	2020/3/20	1.11%
8 第305回利付国債(10年)	国債	1.300%	2019/12/20	1.09%
9 第68回利付国債(5年)	国債	1.100%	2012/12/20	1.09%
10 第83回利付国債(5年)	国債	0.900%	2014/6/20	1.02%

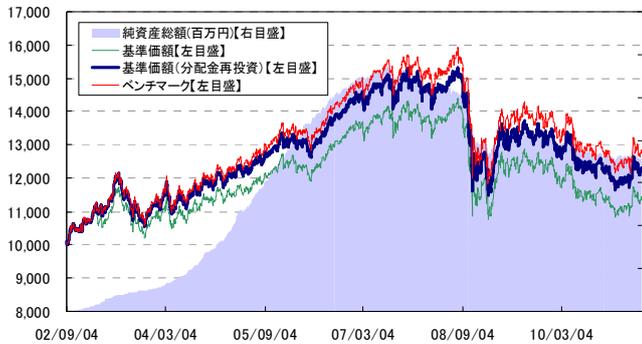
・比率は純資産総額に対する割合です。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。
 ■NOMURA—BPI総合指数とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA—BPI総合指数は野村證券株式会社の知的財産であり、当ファンドの運用成果に、野村證券株式会社は一切関係ありません。

三菱UFJ 外国債券ファンドVA (適格機関投資家限定)

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆設定来の運用実績



・基準価額、基準価額(分配金再投資)、ベンチマークは設定日を10,000として指数化しています。
 ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.3675%(税抜 0.35%))控除後の値です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

◆ファンド現況

	2011/5/31	前月末	前月末比
基準価額	11,423円	11,590円	-167円
純資産総額(百万円)	179,718	183,401	-3,684

	基準価額	日付
設定来高値	14,379円	2008/8/7
設定来安値	10,000円	2002/9/4

◆分配金実績(税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2011/2/21	2010/2/22	2009/2/20	2008/2/20	2007/2/20	2006/2/20	
分配金	0円	100円	0円	0円	100円	100円	850円

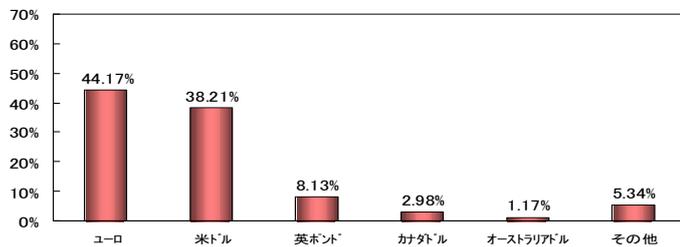
・1万円当たりの税引前分配金実績です。

◆利回り・デュレーション・平均残存期間

最終利回り	2.75%	平均残存年数	8.15年
直接利回り	3.52%		
デュレーション	5.90年		

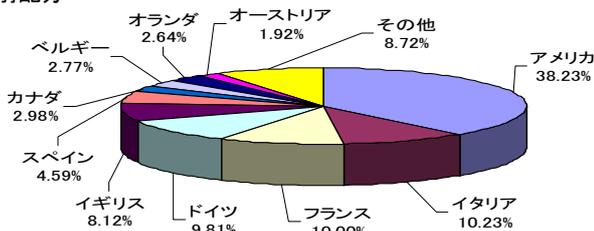
・数値は、債券現物部分について計算しています。

◆通貨別組入比率



・比率は、[外貨建て純資産-為替ヘッジ]で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

◆国別配分



・比率は現物債券評価額に対する割合です。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。
 ■シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)とは、シティグループ・グローバル・マーケットズ・インクが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化した債券インデックスです。

◆商品概要

主要投資対象	三菱UFJ 外国債券マザーファンド受益証券(外国の公社債に直接投資することもあります。)
運用方針	①三菱UFJ 外国債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク(シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース))に連動する投資成果を目指して運用を行います。 ②三菱UFJ 外国債券マザーファンドは、日本を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。 ③日本を除く世界主要国の公社債に直接投資することもできます。 ④外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。ただし、市場動向等の判断により、為替ヘッジを行う場合があります。
設定日	2002年9月4日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日(休業日の場合、翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し、年率0.3675%(税抜 0.35%)

◆運用資産構成

	2011/5/31	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	99.88%	99.86%	0.02%
内 現物	99.88%	99.86%	0.02%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

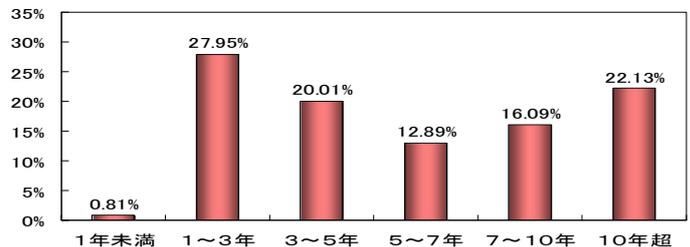
・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-1.44%	3.46%	1.55%	-1.54%	-16.54%	22.94%
ベンチマーク	-1.67%	3.17%	1.62%	-1.29%	-15.47%	28.20%
差	0.23%	0.29%	-0.08%	-0.26%	-1.07%	-5.26%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。
 ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

◆残存別組入比率



・比率は純資産総額に対する割合です。

◆組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 602 銘柄)

	銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1	3.375 T-NOTE 191115	国債	3.375%	2019/11/15	アメリカ	0.55%
2	3.625 T-NOTE 200215	国債	3.625%	2020/2/15	アメリカ	0.50%
3	3.625 T-NOTE 210215	国債	3.625%	2021/2/15	アメリカ	0.48%
4	3.5 T-NOTE 200515	国債	3.500%	2020/5/15	アメリカ	0.43%
5	2.75 T-NOTE 190215	国債	2.750%	2019/2/15	アメリカ	0.41%
6	2.625 T-NOTE 200815	国債	2.625%	2020/8/15	アメリカ	0.41%
7	3.125 T-NOTE 190515	国債	3.125%	2019/5/15	アメリカ	0.39%
8	2.75 GILT 150122	国債	2.750%	2015/1/22	イギリス	0.39%
9	4.5 GILT 130307	国債	4.500%	2013/3/7	イギリス	0.38%
10	3.75 O.A.T 210425	国債	3.750%	2021/4/25	フランス	0.36%

・比率は純資産総額に対する割合です。

TMA東海3県日本株式VA・TMA外国株式インデックスVA <適格機関投資家限定>

- ・投資型年金保険アズーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、東京海上アセットマネジメント投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆TMA東海3県日本株式VA<適格機関投資家限定>



騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	-1.44	-37.74

純資産総額

913 百万円

※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万円当たりで、信託報酬控除後のものです。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 50銘柄)

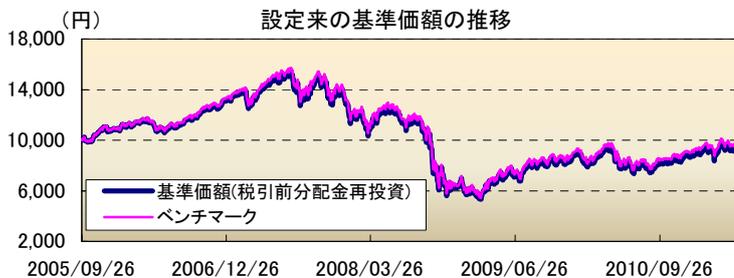
No	銘柄	業種名	比率(%)
1	デンソー	自動車	8.21
2	トヨタ自動車	自動車	7.83
3	東海旅客鉄道	運輸	6.97
4	中部電力	公益	5.37
5	アイシン精機	自動車	4.80
6	豊田自動織機	自動車	4.51
7	豊田通商	商社	2.87
8	マキタ	機械	2.81
9	日本碍子	基礎素材	2.70
10	イビデン	電子部品	2.27

組入上位10業種

No	業種名	比率(%)
1	自動車	31.20
2	機械	10.70
3	運輸	9.18
4	公益	6.98
5	小売り	5.97
6	電子部品	5.80
7	銀行	4.79
8	サービス	4.61
9	商社	4.54
10	基礎素材	3.99

※組入上位10銘柄・組入上位10業種はマザーファンド(TMA東海3県マザーファンド)ベースです。※業種名は弊社独自の21業種分類です。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。

◆TMA外国株式インデックスVA<適格機関投資家限定>



騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	-3.92	-8.06
ベンチマーク	-4.23	-4.42
差	+0.31	-3.64

純資産総額

82,001 百万円

※ベンチマークはMSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)で、上記グラフ設定日を10,000円として指数化しております(設定日:2005年9月26日)。
 ※MSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)とは、MSCI社が発表している日本を除く主要先進国の株式市場の動きを捉える代表的な株価指標です。
 同指数の著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCIの許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用等することは禁じられています。MSCIは当ファンドとは関係なく、当ファンドから生じるいかなる責任も負いません。
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万円当たりで、信託報酬控除後のものです。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1046銘柄)

No	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	1.75
2	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.30
3	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	0.92
4	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.88
5	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.87
6	CHEVRONTXACO CORP	アメリカ	エネルギー	0.87
7	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.79
8	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	0.77
9	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.77
10	AT&T INC	アメリカ	電気通信サービス	0.77

組入上位10カ国

No	国名	比率(%)
1	アメリカ	53.00
2	イギリス	10.54
3	カナダ	5.78
4	フランス	4.75
5	オーストラリア	4.22
6	ドイツ	4.17
7	スイス	4.05
8	スペイン	1.64
9	スウェーデン	1.55
10	イタリア	1.34

組入上位10業種

No	業種	比率(%)
1	エネルギー	12.08
2	素材	7.86
3	銀行	7.75
4	資本財	7.72
5	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.18
6	食品・飲料・タバコ	6.24
7	ソフトウェア・サービス	5.18
8	各種金融	5.14
9	保険	4.09
10	電気通信サービス	4.08

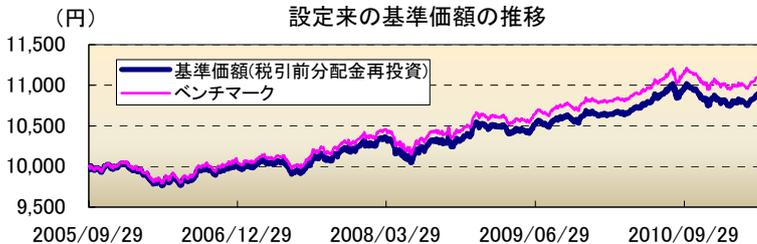
※組入上位10銘柄・組入上位10カ国・組入上位10業種はマザーファンド(TMA外国株式インデックスマザーファンド)ベースです。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。

注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づき東京海上アセットマネジメント投信株式会社により作成されていますが、東京海上アセットマネジメント投信株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

TMA日本債券インデックスVA・TMA外国債券インデックスVA <適格機関投資家限定>

- ・投資型年金保険アズーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、東京海上アセットマネジメント投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆TMA日本債券インデックスVA<適格機関投資家限定>



騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	+0.35	+8.73
ベンチマーク	+0.38	+10.88
差	-0.03	-2.15

純資産総額

109,629 百万円

※ベンチマークはNOMURA-BPI(総合)で、上記グラフ上設定日を10,000円として指数化しております(設定日:2005年9月29日)。NOMURA-BPI(総合)とは、野村證券が公表する日本の公募債券流通市場全体の動向を的確に表す代表的な指標です。NOMURA-BPIは、野村證券の知的財産です。野村證券は、当ファンドの運用成績等に関し、何ら責任を負うものではありません。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万円当たりで、信託報酬控除後のものです。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 535銘柄)

債券種別比率

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第256回利付国債(10年)	1.40	2013/12/20	1.76
2	第88回利付国債(5年)	0.50	2015/03/20	1.59
3	第305回利付国債(10年)	1.30	2019/12/20	1.48
4	第312回利付国債(10年)	1.20	2020/12/20	1.44
5	第92回利付国債(5年)	0.30	2015/09/20	1.38
6	第81回利付国債(5年)	0.80	2014/03/20	1.21
7	第306回利付国債(10年)	1.40	2020/03/20	1.18
8	第289回利付国債(10年)	1.50	2017/12/20	1.08
9	第313回利付国債(10年)	1.30	2021/03/20	1.04
10	第85回利付国債(5年)	0.70	2014/09/20	1.02

種別	比率(%)
国債	75.29
地方債	8.30
政保・特殊債	6.90
金融債	0.56
事業債等	8.04

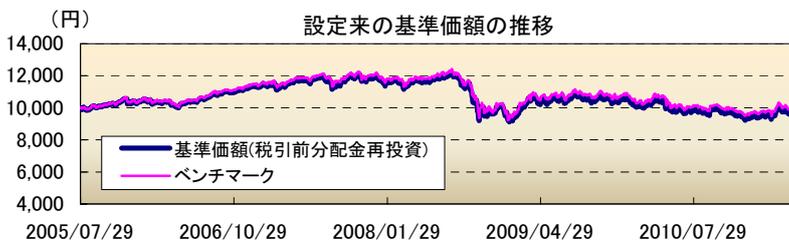
ポートフォリオの状況

平均複利利回り(%)	0.83
平均クーポン(%)	1.52
平均残存年数(年)	7.84
修正デュレーション(年)	6.89

※組入上位10銘柄・債券種別比率・ポートフォリオの状況はマザーファンド(TMA日本債券インデックスマザーファンド)ベースです。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。

※ポートフォリオの状況は途中償還等を考慮して計算しています。

◆TMA外国債券インデックスVA<適格機関投資家限定>



騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	-1.45	-2.48
ベンチマーク	-1.67	-0.01
差	+0.22	-2.47

純資産総額

113,967 百万円

出所: Thomson Datastream

※ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)で、上記グラフ上、ベンチマークは設定日を10,000円として指数化しております(設定日:2005年7月29日)。※シティグループ世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケッツ・インクが開発した債券インデックスです。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万円当たりで、信託報酬控除後のものです。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 346銘柄)

通貨別比率(組入上位5通貨)

No	銘柄	利率(%)	償還日	通貨	比率(%)
1	米国債	1.500	2013/12/31	米ドル	1.31
2	米国債	3.375	2019/11/15	米ドル	1.20
3	米国債	8.750	2020/08/15	米ドル	1.19
4	米国債	2.375	2014/10/31	米ドル	1.13
5	米国債	3.750	2018/11/15	米ドル	1.06
6	米国債	4.500	2016/02/15	米ドル	0.92
7	米国債	8.750	2017/05/15	米ドル	0.90
8	米国債	4.000	2015/02/15	米ドル	0.87
9	ドイツ国債	3.250	2020/01/04	ユーロ	0.87
10	米国債	3.375	2013/06/30	米ドル	0.84

通貨	比率(%)
ユーロ	43.25
米ドル	37.69
英ポンド	7.82
カナダ・ドル	2.92
豪ドル	1.12

ポートフォリオの状況

平均複利利回り(%)	2.76
平均クーポン(%)	4.30
平均残存期間(年)	8.28
修正デュレーション(年)	5.94

※組入上位10銘柄・通貨別比率・ポートフォリオの状況はマザーファンド(TMA外国債券インデックスマザーファンド)ベースです。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。

注) 当資料は信頼できると思われる情報に基づき東京海上アセットマネジメント投信株式会社により作成されていますが、東京海上アセットマネジメント投信株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA (適格機関投資家限定)

- ・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
- また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)は、2002年9月11日に設定され(信託期間:無期限)、日本を含む世界各国の株式および公社債(これらを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を目指す追加型証券投資信託(ファンド・オブ・ファンズ)です。

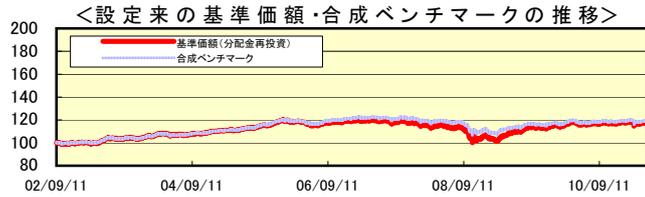
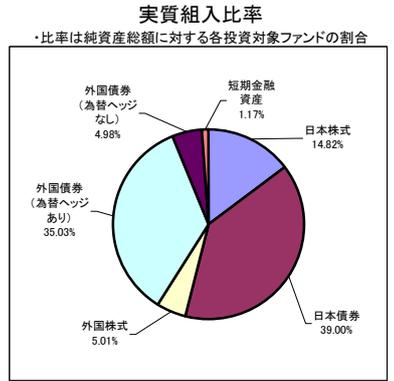
三菱UFJ MV20VA(適格機関投資家限定)

騰落率(分配金再投資)	ファンド	ベンチマーク
直近1ヵ月	0.38%	0.30%
直近3ヵ月	-0.51%	-0.58%
直近6ヵ月	0.65%	0.42%
直近1年	1.34%	1.17%
設定以来	17.50%	18.98%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したのとして計算しております。
また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

ファンド現況(月末時点)	
	純資産総額
2011/05/31	3,005 百万円
2011/04/28	3,009 百万円
2011/03/31	3,058 百万円
2011/02/28	3,155 百万円

・純資産総額は百万円未満四捨五入



・上記グラフの基準価額(分配金再投資)および合成ベンチマークは、設定日(2002年9月11日)を100として指数化したものです。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したのとして計算しています。
・合成ベンチマークは、配当込みTOPIX16%、MSCIコクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)5%、NOMURA-BPI総合指数38%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ)円ベース)35%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)5%、有担保コールレート翌日物1%を組み合わせた指数です。

分配金実績(税引前)

決算日	分配金
直近期 2010/12/13	100 円
2期前 2009/12/14	100 円
3期前 2008/12/12	0 円
4期前 2007/12/12	0 円
5期前 2006/12/12	0 円
6期前 2005/12/12	100 円
設定来累計	500 円

・1万円当たりの税引前分配金実績です。

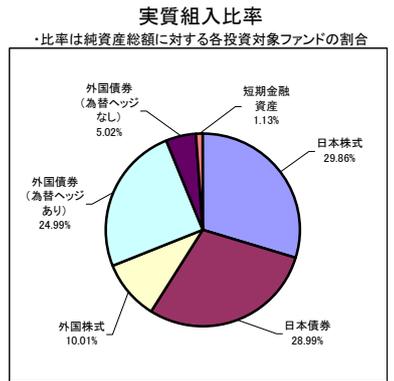
三菱UFJ MV40VA(適格機関投資家限定)

騰落率(分配金再投資)	ファンド	ベンチマーク
直近1ヵ月	-0.29%	-0.40%
直近3ヵ月	-2.37%	-2.59%
直近6ヵ月	0.50%	0.08%
直近1年	1.28%	1.04%
設定以来	18.06%	19.56%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したのとして計算しております。
また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

ファンド現況(月末時点)	
	純資産総額
2011/05/31	7,228 百万円
2011/04/28	7,315 百万円
2011/03/31	7,511 百万円
2011/02/28	8,031 百万円

・純資産総額は百万円未満四捨五入



・上記グラフの基準価額(分配金再投資)および合成ベンチマークは、設定日(2002年9月11日)を100として指数化したものです。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したのとして計算しています。
・合成ベンチマークは、配当込みTOPIX30%、MSCIコクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数9%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ)円ベース)25%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)5%、有担保コールレート翌日物1%を組み合わせた指数です。

分配金実績(税引前)

決算日	分配金
直近期 2010/12/13	100 円
2期前 2009/12/14	100 円
3期前 2008/12/12	0 円
4期前 2007/12/12	0 円
5期前 2006/12/12	0 円
6期前 2005/12/12	100 円
設定来累計	500 円

・1万円当たりの税引前分配金実績です。

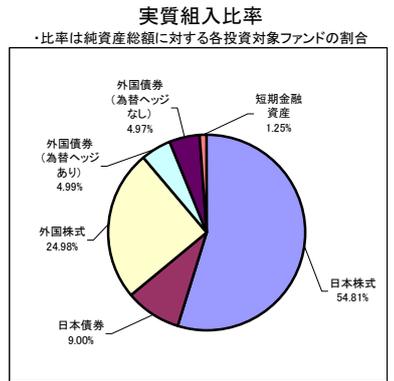
三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)

騰落率(分配金再投資)	ファンド	ベンチマーク
直近1ヵ月	-1.72%	-1.91%
直近3ヵ月	-5.52%	-5.90%
直近6ヵ月	0.60%	0.06%
直近1年	1.78%	1.42%
設定以来	16.12%	18.01%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したのとして計算しております。
また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

ファンド現況(月末時点)	
	純資産総額
2011/05/31	4,373 百万円
2011/04/28	4,487 百万円
2011/03/31	4,536 百万円
2011/02/28	4,722 百万円

・純資産総額は百万円未満四捨五入



・上記グラフの基準価額(分配金再投資)および合成ベンチマークは、設定日(2002年9月11日)を100として指数化したものです。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したのとして計算しています。
・合成ベンチマークは、配当込みTOPIX55%、MSCIコクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)25%、NOMURA-BPI総合指数9%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ)円ベース)25%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)5%、有担保コールレート翌日物1%を組み合わせた指数です。

分配金実績(税引前)

決算日	分配金
直近期 2010/12/13	0 円
2期前 2009/12/14	100 円
3期前 2008/12/12	0 円
4期前 2007/12/12	0 円
5期前 2006/12/12	100 円
6期前 2005/12/12	100 円
設定来累計	500 円

・1万円当たりの税引前分配金実績です。

・配当込みTOPIXとは、東京証券取引所第一部に上場する内国株全銘柄を対象として算出した指数(TOPIX)に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。配当込みTOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、配当込みTOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、配当込みTOPIXの算出もしくは公表の停止または配当込みTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
・MSCIコクサイ インデックスとは、MSCI社が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要国で構成されています。MSCIコクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)は、MSCIコクサイ インデックス(除く日本 米ドルベース 配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ インデックスはMSCI社の財産であり、MSCI社はMSCI社のサービスです。
・NOMURA-BPI総合指数とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建て外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI総合指数は野村證券株式会社の知的財産であり、各ファンドの運用成果に關し、野村證券株式会社は一切関係ありません。
・シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ)円ベース)ならびにシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化した債券インデックスです。
(注)各合成ベンチマークの計算にあたっては、委託会社において、ファンドにおける組入資産・為替の評價時点にあわせて計算を行います。

注)当資料は信頼できると思われる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)は、2002年9月11日に設定され(信託期間:無期限)、日本を含む世界各国の株式および公社債(これらを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を目指す追加型証券投資信託(ファンド・オブ・ファンズ)です。

[5月の市況概況]

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)の主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。

5月の海外株式相場は下落しました。米国では、設備投資や住宅等の経済指標が悪化する等、景気回復の鈍化傾向が明らかとなる中、FRB(米連邦準備制度理事会)が追加量的緩和政策を6月で打ち切ることへの懸念が高まるにつれ、低金利政策が長期化するととの観測が広がりました。ユーロ圏では、欧州周辺国の債務問題が深刻化しました。特にギリシャに対する懸念が高まり、投資家のリスク回避傾向が高まりました。こうした中、海外株式相場は、米国の景気回復鈍化への懸念や欧州の債務問題の深刻化、商品相場下落等を背景に軟調に推移しました。月後半には、好調な企業決算等を受けて上昇する局面もありましたが、最終的に前月末を下回る水準で終わりました。

国内株式相場も下落しました。国内では、東日本大震災の影響により生産や消費が低下したこと等から、2011年1-3月期のGDP(国内総生産)(速報値)が2四半期連続のマイナス成長となりました。一方、サプライチェーン(部品調達網)の回復に伴い、鉱工業生産が5月以降に本格回復となる見通しが広がりました。こうした中、国内株式相場は、国内景気の悪化に加え、米国の景気回復鈍化や中国での金融引き締め等も懸念されたことから、軟調な展開となりました。下旬には、経済指標の改善等を受けて持ち直しましたが、最終的に前月末を下回る水準で終わりました。

海外債券相場は上昇(債券利回りは低下)しました。前月末に3.2%台後半であった米国10年物国債利回りは、米国の景気回復鈍化への懸念や欧州の債務問題の深刻化等を受けて、月を通じて低下しました。また、景気減速を受けて、FRBの低金利政策が長期化するととの観測が高まったことも低下要因となり、最終的に3.0%台後半で月を終えました。前月末に3.2%台前半であったドイツ10年物国債利回りもほぼ同様の展開となり、最終的に3.0%台前半で月を終えました。

国内債券相場も上昇しました。前月末に1.2%台前半であった10年物国債利回りは、米国の景気回復鈍化への懸念や欧州の債務問題の深刻化等を受けて低下基調で推移しました。月末には、国債の格付見直し引き下げ等が発表されたものの、利回りは若干の上昇にとどまり、最終的に1.1%台後半で月を終えました。為替市場では、ドル/円相場は0.1%の円安、ユーロ/円相場は3.0%の円高となりました。

ラッセル・インベストメントグループ

ラッセル・インベストメントグループは、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に、グローバルに総合的な資産運用ソリューションを提供しています。

グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理、株式インデックスの開発など幅広く業務を行っており、現在当グループが提供するファンドの運用資産総額は約13兆円※となっています。

(※ 2011年3月末現在、為替換算レート:82.88円/ドル)

ラッセル・インベストメント株式会社

これまでラッセル・インベストメントグループが世界で提供してきた“マルチ・マネージャー・ファンド”を日本で初めて設定・運用管理し、日本の投資家の皆様にご提供致しております。

注)当資料は信頼できると思われる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA (適格機関投資家限定)

・投資型年金保険 アズーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)は、2002年9月11日に設定され(信託期間:無期限)、日本を含む世界各国の株式および公社債(これを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を目指す追加型証券投資信託(ファンド・オブ・ファンズ)です。

【各投資信託証券の運用経過及び運用状況】

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)の主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータコメントを原則としてそのまま掲載しています。

ラッセル 日本株式ファンド II (適格機関投資家限定)

1.運用成果

設定日 2000年12月21日

(2011年5月末)			
ファンド・ベンチマーク騰落率			
	設定来	過去1年間	期初末
ファンド	-16.9%	-2.8%	-4.7%
ベンチマーク	-22.8%	-2.7%	-5.4%
過去6か月			
	過去6か月	過去3か月	過去1か月
ファンド	-0.2%	-10.9%	-1.6%
ベンチマーク	-1.4%	-10.9%	-1.6%
組入銘柄数		426 銘柄	

株式保有上位10銘柄

(2011年5月末)		
銘柄	業種	組入比率※1
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.2%
トヨタ自動車	輸送用機器	3.1%
日本電信電話	情報・通信業	2.5%
エヌ・ティ・ティ・コム	情報・通信業	2.4%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.0%
三井物産	卸売業	2.0%
本田技研工業	輸送用機器	1.7%
オリックス	その他金融業	1.7%
三菱商事	卸売業	1.7%
日産自動車	輸送用機器	1.6%

※1 組入比率は株式評価額合計に対する割合(投資信託除く)

2.ファンドの内容

上位10業種の配分

組入比率の比較とベンチマーク収益率 (2011年5月末)			
業種	ファンド※1	ベンチマーク	ベンチマーク収益率
電気機器	11.2%	14.7%	-1.6%
銀行業	9.9%	8.9%	-3.0%
輸送用機器	8.9%	10.6%	1.7%
情報・通信業	8.0%	6.1%	0.1%
化学	7.9%	6.1%	-1.0%
卸売業	7.0%	5.5%	-2.7%
機械	4.4%	5.4%	-4.2%
医薬品	3.8%	4.8%	0.5%
小売業	3.7%	3.7%	2.1%
陸運業	3.1%	3.4%	0.3%

ベンチマーク: TOPIX(配当込み)

TOPIXは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、株価指数の算出、公表、利用などTOPIXに関するすべての権利およびTOPIXの商標に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。また、これらの情報は信頼のおける情報源から得たものではありませんが、株式会社東京証券取引所はその確実性及び完結性に責任を負うものではありません。

外部委託運用会社

運用会社

住友信託銀行

セブラ・キャピタル・マネジメント

アライアンス・ハーンスタイン

ラッセル・インプリメンテーション・サービス

ファンネクス・アセット・マネジメント

※2 キャッシュ・エクイティゼーション(流動資産の株式化)部分を除きます。

運用スタイル

グロース型

バリュウ型

バリュウ型

バリュウ型

バリュウ型

マーケット・オリエンテッド型

目標配分割合※2

25%

20%

20%

10%

25%

3.運用状況

5月の国内株式相場は下落しました(TOPIX(配当込み)は前月末比1.6%下落)。こうした中、ラッセル 日本株式ファンドIIの基準価額は前月末比1.6%下落しました。国内株式相場は、東日本大震災の影響による国内景気の悪化に加え、米国の景気回復鈍化や中国の金融引き締め等、国内外の経済の先行きが懸念されたことから軟調な展開となりました。下旬には、円安進行による企業業績の改善期待や経済指標の改善等を受けて持ち直しましたが、最終的に前月末を下回る水準で終えました。スタイル別では、Russell/Nomuraグロース指数は1.3%の下落、同バリュウ指数は1.9%の下落となり、グロース優位の展開となりました。

ラッセル 外国株式ファンド II (適格機関投資家限定)

1.運用成果

設定日 2000年12月21日

(2011年5月末)			
ファンド・ベンチマーク騰落率			
	設定来	過去1年間	期初末
ファンド	1.6%	17.0%	5.1%
ベンチマーク	10.1%	16.9%	6.7%
過去6か月			
	過去6か月	過去3か月	過去1か月
ファンド	9.9%	2.5%	-3.3%
ベンチマーク	13.3%	1.7%	-1.9%
組入銘柄数		362 銘柄	

株式保有上位10銘柄

(2011年5月末)		
銘柄	通貨	組入比率※1
NESTLE SA-REG	CHF	2.1%
JULIUS BAER GROUP LTD	CHF	1.4%
DIAGEO PLC	GBP	1.3%
CIE FINANCIERE RICHEMON-BR A	CHF	1.3%
THE WALT DISNEY CO	USD	1.3%
ORACLE CORP	USD	1.2%
APPLE INC	USD	1.1%
LINDE AG	EUR	1.0%
INTEL CORP	USD	1.0%
STATE STREET CORP	USD	1.0%

※1 組入比率は株式評価額合計に対する割合(投資信託除く)

2.ファンドの内容

地域別配分

組入比率の比較とベンチマーク収益率 (2011年5月末)			
地域	ファンド※2	ベンチマーク	ベンチマーク収益率
北米地域	55.3%	60.3%	-1.2%
ユーロ地域	18.7%	15.3%	-4.8%
ユーロ除く欧州	21.6%	17.5%	-1.3%
その他	4.4%	6.9%	-3.0%

※2 組入比率は株式及び先物等の評価額合計に対する割合(投資信託含む)

ベンチマーク: MSCI KOKUSAI(配当込み)

MSCI KOKUSAIインデックスに関する著作権およびその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的など一切の手段その他、あらゆる形態を用い、インデックスの全部または一部を複製、配付、使用することは禁じられています。またこれらの情報は信頼のおける情報源から得たものではありませんが、その確実性及び完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。

外部委託運用会社

運用会社

マッキンリー・キャピタル・マネジメント

マッシュ・キャピタル・マネジメント

ハリス・アソシエイツ

エムエフエス・インステイション・アドバイザーズ

アロストリート・キャピタル

※3 キャッシュ・エクイティゼーション(流動資産の株式化)部分を除きます。

運用スタイル

グロース型

グロース型

バリュウ型

マーケット・オリエンテッド型

マーケット・オリエンテッド型

目標配分割合※3

15%

15%

15%

30%

25%

3.運用状況

5月の海外株式相場は下落しました(MSCI KOKUSAI(配当込み)は前月末比1.9%下落)。こうした中、ラッセル 外国株式ファンドIIの基準価額は前月末比3.3%下落しました。米国株式相場は、経済指標の悪化やギリシャ等の欧州周辺国の債務問題の深刻化、商品相場の下落等を背景に軟調に推移しました。月後半には、好調な企業決算やM&A(企業の合併・買収)、ギリシャに対する追加金融支援観測等を好感し、上昇する局面もありましたが、最終的に前月末を下回る水準で終えました。欧州株式相場もほぼ同様の展開となりました。為替市場では、対米ドルで円安、対ユーロで円高となりました。

運用成果はラッセル 日本株式ファンドII(適格機関投資家限定)及びラッセル 外国株式ファンドII(適格機関投資家限定)に関するもので、上位10業種の配分、地域別配分、株式保有上位10銘柄、外部委託運用会社、運用状況はラッセル 日本株式マザーファンド及び、ラッセル 外国株式マザーファンドについての記述です。
 運用成果は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りと異なります。ベンチマークの数字は各当該指数の実績を示すものであり、ファンドの実績あるいは将来の成果を保証するものではありません。

注)当資料は信頼できると思われる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA (適格機関投資家限定)

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)は、2002年9月11日に設定され(信託期間:無期限)、日本を含む世界各国の株式および公社債(これらを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を目指す追加型証券投資信託(ファンド・オブ・ファンズ)です。

【各投資信託証券の運用経過及び運用状況】

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)の主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。

ラッセル 日本債券ファンドⅢ(適格機関投資家限定)

1.運用成果

設定日 2002年9月12日

(2011年5月末)

ファンド・ベンチマーク騰落率			
	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	9.8%	1.4%	1.2%
ベンチマーク	12.7%	1.5%	1.3%
過去6か月			
	過去6か月	過去3か月	過去1か月
ファンド	0.7%	0.7%	0.5%
ベンチマーク	0.7%	0.8%	0.4%

ベンチマーク: NOMURA-BPI総合指数
 NOMURA-BPI総合指数は、野村證券株式会社の金融工学等研究部門が公表する、国内で発行された公募利付債券の市場全体の動向を表す投資収益指数です。
 NOMURA-BPIは、野村證券株式会社の金融工学等研究部門が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、野村證券株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

2.ファンドの内容

種別配分

組入比率の比較とベンチマーク収益率 (2011年5月末)

種別	ファンド※1	ベンチマーク	ベンチマーク収益率
国債	75.5%	75.5%	0.5%
地方債	0.0%	7.2%	0.5%
政保債	0.7%	4.6%	0.3%
金融債	0.0%	1.5%	0.2%
事業債	16.6%	9.0%	-0.6%
円建外債	3.6%	0.8%	0.5%
MBS / ABS	0.0%	1.4%	0.5%
その他	3.5%	--	--

※1 組入比率は債券及び投資信託の評価額合計に対する割合

外部委託運用会社

運用会社

運用スタイル

目標配分割合

りそな銀行

広範囲型

50%

DIAM7セットマネジメント

広範囲型

50%

3.運用状況

5月の国内債券相場は上昇(債券利回りは低下)しました(NOMURA-BPI総合指数は前月末比0.4%上昇)。こうした中、ラッセル 日本債券ファンドⅢの基準価額は前月末比0.5%上昇しました。国内債券相場は、国内株式相場が軟調に推移したことに加え、米国の景気回復鈍化への懸念が高まったことや欧州の債務問題が深刻化したこと等を背景に上昇基調で推移しました。月末には、国内株式相場が反発したことや国債の格付見直し引き下げが発表されたこと等を受けて下落する局面もありましたが、最終的に前月末を上回る水準で終えました。

ラッセル 外国債券ファンドⅢ(適格機関投資家限定)

Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)

1.運用成果

Aコース

設定日 2002年9月12日

(2011年5月末)

ファンド・ベンチマーク騰落率			
	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	23.1%	1.7%	1.7%
ベンチマーク	19.3%	1.0%	1.4%
過去6か月			
	過去6か月	過去3か月	過去1か月
ファンド	0.7%	1.7%	1.7%
ベンチマーク	0.2%	1.7%	1.3%

Bコース

設定日 2002年9月12日

(2011年5月末)

ファンド・ベンチマーク騰落率			
	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	30.1%	-0.6%	3.0%
ベンチマーク	27.3%	-0.5%	2.8%
過去6か月			
	過去6か月	過去3か月	過去1か月
ファンド	2.0%	3.5%	-1.4%
ベンチマーク	3.1%	3.3%	-0.2%

3.運用状況

5月の海外債券相場は上昇(債券利回りは低下)しました(シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は円高のため前月末比0.2%下落)。こうした中、ラッセル 外国債券ファンドⅢの基準価額はAコースで前月末比1.7%の上昇、Bコースで1.4%の下落となりました。米国債券相場は、米国の景気回復鈍化への懸念や欧州の債務問題の深刻化等を受けて、月を通じて上昇基調となりました。また、景気減速を受けて、FRB(米連邦準備制度理事会)の低金利政策が長期化するとの観測が高まったことも上昇要因となり、最終的に前月末を上回る水準で終えました。欧州債券相場もほぼ同様の展開となりました。為替市場では、対米ドルで円安、対ユーロで円高となりました。

運用成果はラッセル 日本債券ファンドⅢ(適格機関投資家限定)及び、ラッセル 外国債券ファンドⅢAコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)に関するもので、種別配分、地域別配分、外部委託運用会社、運用状況はラッセル 日本債券マザーファンド及び、ラッセル 外国債券マザーファンドについての記述です。
 運用成果は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。ベンチマークの数字は各当該指数の実績を示すものであり、ファンドの実績或いは将来の成果を保証するものではありません。

注)当資料は信頼できると思われる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA (適格機関投資家限定)

・投資型年金保険 アズラク(多機能付添額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としています。当商品は投資信託とは異なる商品です。
また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・当資料は、三菱UFJ投資株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供されるものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)は、2002年9月11日に設定され(信託期間：無期限)、日本を含む世界各国の株式および公社債(これを主要投資対象とするマザーファンド)を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を目指す追加型証券投資信託(ファンド・オブ・ファンズ)です。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)の主要投資対象である投資信託証券の運用会社リスト

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)の主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。

Table with columns for investment company and strategy details. Rows include:
- ラッセル 日本株式ファンド II (適格機関投資家限定)
- ラッセル 外国株式ファンド II (適格機関投資家限定)
- <ラッセル 日本株式マザーファンド>
- <ラッセル 外国株式マザーファンド>
- グロース型 住友信託銀行(日本)
- マッキンリー・キャピタル・マネジメント(米国)
- グロース型 マーシコ・キャピタル・マネジメント(米国)
- バリュエーション型 ゼブラ・キャピタル・マネジメント(米国)
- バリュエーション型 アライアンス・パートナーズ(日本、香港)
- マーケット・オリエンテッド型 エムエフエス・インスティテューショナル・アドバイザーズ(米国)
- バリュエーション型 ラッセル・インプリメンテーション・サービシーズ(米国)
- マーケット・オリエンテッド型 ファンネックス・アセット・マネジメント(日本)
- ラッセル 日本債券ファンド III (適格機関投資家限定)
- <ラッセル 日本債券マザーファンド>
- <ラッセル 外国債券マザーファンド>
- 一般債型 りそな銀行(日本)
- マクロ・バリュエーション型 コルチェスター・グローバル・インベスターズ(英国)
- 一般債型 DIAMアセットマネジメント(日本)
- 一般債型 ピムコ(米国)

注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

三菱 MRF (マネー・リザーブ・ファンド)

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆ファンド概況

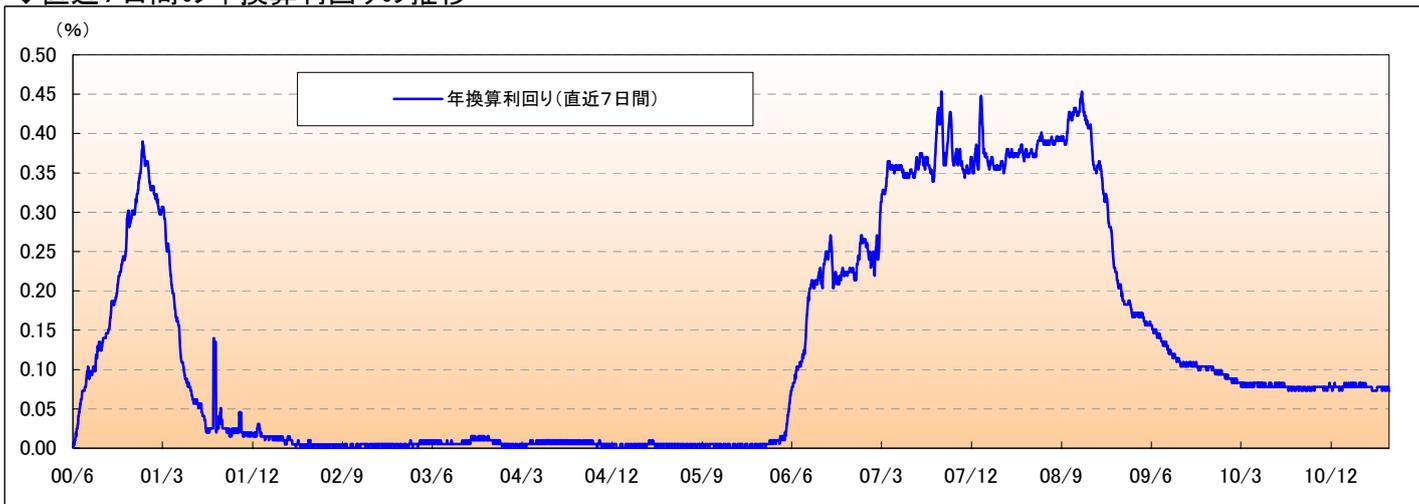
	2011年5月末	2011年4月末
基準価額	10,000円	10,000円
純資産総額(百万円)	35,525	32,528
組入銘柄数	14銘柄	15銘柄
実質債券組入比率	81.62%	96.83%
内 現物	81.62%	96.83%
内 先物	0.00%	0.00%
短期金融資産	18.38%	3.17%
平均残存日数	26.27日	36.53日

・基準価額は、信託報酬(信託元本の額に対して年率1.0%以内)控除後のものです。
 ・比率は純資産総額に対する割合です。
 ・決算日の基準価額が1口当たり1円を下回っている場合には、追加設定は行いません。

◆ファンドの特色

信用度が高く、残存期間の短い内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行います。

◆直近7日間の年換算利回りの推移

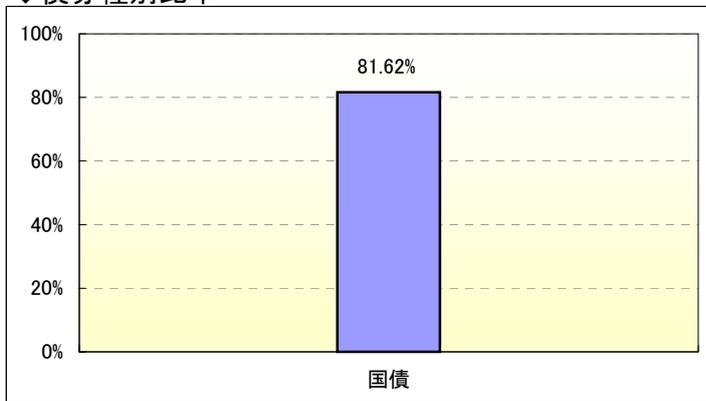


◆組入上位10銘柄

	銘柄	比率
1	第196回国庫短期証券	21.11%
2	第115回国庫短期証券	8.44%
3	第177回国庫短期証券	7.04%
4	第175回国庫短期証券	4.22%
5	第179回国庫短期証券	4.22%
6	第181回国庫短期証券	4.22%
7	第182回国庫短期証券	4.22%
8	第186回国庫短期証券	4.22%
9	第188回国庫短期証券	4.22%
10	第189回国庫短期証券	4.22%

・比率は純資産総額に対する割合です。(一部買現先を含みます。)

◆債券種別比率



・比率は純資産総額に対する割合です。(一部買現先を含みます。)

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「保険関係費用」、「資産運用関係費用」の合計額となります
(ただし、特約を付加した場合や一定期間の解約等には別途「特定の取引のご契約者にご負担いただく費用」がかかりますのでご注意ください)。

●運用期間中の費用(すべてのご契約者にご負担いただく費用)

項目	内容	費用
保険関係費用 (保険契約管理費)	当保険の新契約成立および維持管理等に必要な費用	特別勘定の純資産総額に対して年率 1.65%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の運用に係る費用 (くわしくは「特別勘定のしおり」をご覧ください。)	特別勘定の投資対象となる投資信託の 純資産総額に対して 上限年率 1.291% 程度(税込)

* 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。

また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがってお客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

●ご契約の内容と取引の内容による費用(特定の取引のご契約者にご負担いただく費用)

項目	内容	費用
年金原資保証特約	特約を付加した場合	基本保険金額に対して年率 0.70% 程度
年金原資加算特約	特約を付加した場合	基本保険金額に対して年率 1.00% 程度
積立金移転費用	1保険年度12回を超える積立金の移転の際	1保険年度13回以上の移転の際1回あたり 1,000円
貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率 1.65%
解約控除	解約したとき	積立金額に対して 7%~2% (経過年数に応じて)

●年金受取期間中の費用(将来、以下の内容が変更になることがあります)

項目	内容	費用
保険関係費用 (年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	受取年金額に対して 1.0%

投資リスクについて

この商品は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や積立金額・将来の年金額などの増減につながるため、高い収益性が期待できる反面、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、積立金額、解約払戻金額は払込保険料を下回ることもあり、損失が生じるおそれがあります。これらのリスクは、ご契約者に帰属することになりますので十分にご注意ください。また、積立金の移転を行った際には、選択した特別勘定の種類によっては投資リスクが異なることとなりますのでご注意ください。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】

【引受保険会社】

東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社

〒141-6008

東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower

TEL 03-6420-4000(大代表)

ホームページ <http://www.tmn-financial.co.jp>

ご契約内容・各種手続きに関するお問合せは

ご契約者さま専用テレホンサービス **0120-155-730**

受付時間 月～金/9:00～17:30

(祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)